

飯塚園長ごあいさつ

猛暑の中、皆様、体調いかがでしょうか？ゆりかご園の子どもたちは、ほぼ毎日園庭のプールで水遊びを楽しんでいます。職員は、出勤時間前から、日陰確保のためのテントの準備や水の温度を上げるために、早めに水を張ったりと、準備に余念がありません。

先日は、「ふりかけプロジェクト」の第2回イベントで、卒園された方のご希望者に対して、「プールで楽しもう！」企画を実施しました。福祉センターにおいて万全の準備で臨んだプール遊び。体に障害がある方たちにとっては、水の中での浮いた状態は、大変、体が楽だそうです。そしてご自分の力でふわふわ移動できる喜びもあるそうです。

当日は、プロジェクトのアドバイザーである松蔭女子大学の垂髪（うない）先生と介助のプロ齋藤氏に応援に入ってください、そして、ゆりかご園からは医師、看護師、理学療法士、保育士、相談員が参加しました。私は見守り隊です（笑）

とにかく、5名参加していただきましたが、全員、本当に上手にそして笑顔で楽しんでおられました。保護者の皆様も、見守り隊でしたが、子どもたちの雄姿を見て、本当に満足そうでした。次回9月にも予定しています。

ふりかけプロジェクトでは、「できる・できない」ではなく「何でもやってみる」をモットーに今後も挑戦していきたいと思います。

令和5年前期あおぞらセミナーに行ってきました！～愛着障害について～

『愛着』という言葉はよく耳にしていますが、研修を受講するとこれまで持っていた『愛着』の理解は狭義のものであったことに気付かされました。『愛着』は親子関係だけのものではなく、「特定の人と結ぶ情緒的なこころの絆」とのことで、支援者としてお子様とかかわるうえでは大変重要なことでした。

愛着形成のための3つの基地機能は「安心基地」「安全基地」「探索基地」とのことでした。お子様がほっと落ち着く「安心できる環境」（好きな人と好きな遊びができる）。不安を軽減できる「安全な環境」（見通しが持て何をするかわかりやすい、気持ちを共感して守ってくれる人がいる）。興味を持ちやってみよう！と主体的に行動する、こんなことがあったよ！と戻って報告ができる「探索できる環境」。この3つの環境を支援者がつくり、お子様との愛着関係を築いていくことで、お子様の育ちに繋がるよう取り組んでいきたいです。

今後も、知っている言葉だから理解している過信するのではなく常に自己研鑽を重ね、お子様にとってより良い環境が作れる支援者でありたいと思います。（児童発達支援管理責任者：徳岡）



セミナー開始前に挨拶をする飯塚施設長



たくさんの方がセミナーに参加されていました！

おもいっきりプール遊びを楽しんでいるゆりかご園♪

うさぎ組（3・4・5歳児クラス）より、ひと夏の様子をご報告させていただきます。なんといっても水遊びですが、水遊びに抵抗感のあるお子様もいますので、6月から泡遊びなどで、水に触れることに親しんできました。そして7月に入り、プール遊びをスタートしたのですが、どのお子様も嬉々として楽しんでいます！それぞれにお気に入りの遊び方があり、パシャパシャとプール内を動いて楽しむお子様もいれば、じょうろやミニ水車などの水遊びグッズでマイペースに楽しむお子様、うきわやフローティングベストを使って優雅に水に浮くお子様も。昨年まではプール内でじっとしていたようなお子様が、顔に水がかかってもへっちゃらで遊ぶ様子がみられたときには、とても成長を感じました。また、うさぎ組からは多くのお子様水治療法（水の特性を利用した運動）にもチャレンジしてくれています。毎日とびきりの笑顔を見せてくれました。（向井）



水がかかっても、へっちゃらで楽しむお子様



浮き輪で楽しむお子様

新人職員紹介！～安心して笑顔で過ごせるゆりかご園を目指して～

6月から入職いたしました山口有那（やまぐち ありな）と申します。ゆりかご園に来て2か月が経とうとしていますが、子どもたち一人ひとりの笑顔がとても可愛く、私自身がゆりかご園に来るたびに元気をいただいています。子どもたちをはじめ、保護者の方やごきょうだい見さんとも、安心して笑顔で過ごすことができるよう、たくさんの経験を共有していきたいです。未熟な点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



明石市立ゆりかご園「ゆりかごギャラリー」からのお知らせ！

9月、10月のゆりかごギャラリーはゆりかご園での夏祭りの様子を展示させていただきます。是非お楽しみにお待ちください。たくさん笑顔をお届けできたらと思っています。